

# IX 付 録

## 1 組合設立までのあらまし

年	月	概	要
昭和43年	7月	一部事務組合による常備消防設置について、加治木町から提案されたが、	時期尚早で立ち消えとなる
昭和45年	5月	交通事故の増加により、加治木町、始良町、蒲生町及び溝辺町の町長間で	常備消防設置について検討が始まる
昭和45年	10月	常備消防設置に関する正式協議が開催される	
昭和45年	11月	常備消防設置準備会議が開催される	
昭和45年	12月	組合設立委員会発足	
昭和46年	1月	組合設立委員会において組合設立についての原案作成が完了する	
昭和46年	3月	蒲生町議会可決を最後に4町とも可決し、組合設立が正式に決定し、組合	設立許可申請を鹿児島県に提出
昭和46年	4月	組合設立について鹿児島県知事の許可を受ける	

## 2 消防本部・署の沿革（始良郡西部消防組合消防本部）

年	月	日	概	要
昭和46年	4月	1日	初代管理者兼初代消防長に曾木隆輝加治木町長就任	消防吏員5人採用
昭和46年	5月	1日	加治木町役場に消防本部を置き消防吏員1人加治木町から出向	
昭和46年	8月	18日	日本消防協会から救急自動車の寄贈を受ける	
昭和46年	10月	1日	事務吏員1人始良町から出向、消防吏員32人採用	
昭和47年	2月	29日	消防無線基地局1、移動局3を設置	
昭和47年	3月	23日	ジープ型消防ポンプ自動車3台を購入	
昭和47年	4月	1日	消防本部、消防署設置の政令指定を受ける	第2代消防長に下猶篤男就任 仮設の本部、署1、分遣所2、消防ポンプ車3台、救急車1台にて 消防業務の実働を始める 消防吏員8人採用、1人加治木町から出向
昭和47年	4月	18日	指令車購入（救急車の兼用可）	
昭和47年	5月	31日	蒲生分遣所庁舎完成	
昭和47年	6月	20日	加治木町大英建設から救急車（トヨタハイエース）1台の寄贈を受	ける
昭和47年	7月	12日	消防無線移動局3局増設	
昭和47年	8月	10日	消防本部・消防署庁舎落成	
昭和47年	9月	15日	溝辺分遣所庁舎落成	
昭和47年	12月	18日	水槽付消防ポンプ車（いすゞ・ガソリン車）1台購入し本署に配置	事務吏員女性1人採用
昭和48年	2月	1日	生命保険協会から救急車1台寄贈を受ける	
昭和48年	3月	9日	消防吏員8人採用	
昭和48年	4月	1日	消防無線移動局（携帯用）3局購入	

年 月 日	概 要
昭和48年 6月25日	日本道路公団から救急車（消防無線付）2台寄贈を受ける
昭和48年12月18日	消防無線移動局2局購入
昭和48年12月26日	水槽付消防ポンプ車1台購入し本署に配置する
昭和49年 3月19日	消防無線基地局（蒲生・溝辺分遣所）2局増設
昭和49年 9月 2日	消防無線移動局（携帯用）4局購入
昭和49年11月10日	初代管理者曾木隆輝加治木町長退任
昭和49年12月 9日	第2代管理者に東國男加治木町長就任
昭和49年12月11日	第2代消防長下猶篤男退任
昭和49年12月31日	第3代消防長に坂元満男消防長就任
昭和50年 1月 1日	日本消防協会から広報車1台寄贈を受ける
昭和52年 7月 5日	第3代消防長坂元満男退任
昭和53年 3月31日	第4代消防長に右田光男就任
昭和53年 4月 1日	消防吏員10人採用
昭和53年10月 1日	消防吏員9人採用 溝辺分遣所救急業務開始（救急車1台、隊員6人配置）
昭和54年 4月16日	会計事務職員1人採用
昭和55年 3月 1日	小型ポンプ付積載車1台購入し本署に配置する
昭和55年 3月31日	消防無線移動局・携帯局各1台購入
昭和55年11月26日	スーパータイヨーから救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和56年 3月20日	小型ポンプ付積載車1台購入し蒲生分遣所に配置する
昭和56年 6月 9日	救助用訓練塔（7m）本署に設置
昭和56年 7月 9日	消防無線携帯局1局購入し蒲生分遣所に配備する
昭和56年12月28日	小型ポンプ付積載車1台購入し溝辺分遣所に配置する
昭和57年10月 1日	蒲生分遣所救急業務開始（救急車1台、隊員6人配置）
昭和57年12月 3日	消防無線移動局2局増設し消防本部及び本署に配備する
昭和57年12月 6日	日本自動車工業会から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和58年 1月25日	水槽付消防ポンプ車1台購入し蒲生分遣所に配置する
昭和58年 7月31日	第4代消防長右田光男退任
昭和58年 8月 1日	第5代消防長に村岡創造就任
昭和58年11月29日	スーパータイヨーから救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和58年12月27日	水槽付消防ポンプ車1台購入し溝辺分遣所に配置する
昭和59年 2月20日	消防無線携帯局3局増設し本署及び蒲生分遣所に配備する
昭和59年12月 6日	徳重ガラス店から救急車1台の寄贈を受け蒲生分遣所に配置する
昭和60年 2月26日	竹下喜久子氏から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和60年 3月 1日	救助用訓練塔溝辺分遣所に設置
昭和60年 3月18日	救助工作車1台を購入し本署に配置する
昭和60年 3月30日	消防無線携帯局2局増設し本署に配備する
昭和60年 5月20日	鹿児島県安全運転管理協議会より優良事業所表彰を受ける
昭和61年 4月28日	山下為美氏から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和61年 6月 1日	消防吏員1人採用（中途退職補充）

年	月	日	概 要
昭和61年	7月	18日	始良郡西部地区危険物安全協会設立
昭和61年	12月	9日	第2代管理者東國男加治木町長退任
昭和61年	12月	15日	第3代管理者に西野繁始良町長就任
昭和61年	12月	31日	第5代消防長村岡創造退任（始良町へ転出）
昭和62年	1月	1日	第6代消防長に木場政昭就任
昭和62年	3月	31日	第6代消防長木場政昭退任 消防無線携帯局2局増設し蒲生分遣所及び溝辺分遣所に配備する
昭和62年	4月	1日	第7代消防長に迫屋清治就任 消防吏員2人採用（退職補充）
昭和63年	3月	8日	水槽付消防ポンプ車1台購入し本署に配置する 消防無線固定局1局・基地局1局予備を増設し本署に配備する
昭和63年	3月	28日	消防無線携帯局2局更新し本署及び溝辺分遣所に配備する
昭和63年	7月	20日	始良郡西部地区防火管理者等協議会設立
平成元年	3月	23日	消防ポンプ車1台購入し本署に配置する 蒲生分遣所救助用訓練塔及び消防用ホース乾燥塔完成（更新）
平成元年	3月	31日	消防無線移動局2局（10w）更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所の小型ポンプ付積載車に配備する
平成元年	4月	1日	消防吏員1人採用（退職補充）
平成2年	2月	1日	川田スミ氏からレスキューツール（救助資機材）一式寄贈を受け救助工作車に配備する
平成2年	3月	7日	小型ポンプ付積載車1台を購入し本署に配置する
平成2年	3月	31日	第7代消防長迫屋清治退任
平成2年	4月	1日	第8代消防長に雨乞信就任 消防吏員1人採用（退職補充）
平成3年	1月	22日	第3代管理者西野繁始良町長退任
平成3年	1月	31日	第4代管理者に櫛山和實始良町長就任
平成3年	4月	1日	消防無線移動局2局更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所の水槽付消防ポンプ車に配備する
平成3年	5月	1日	本署救助用訓練塔（更新）完成
平成3年	11月	13日	始良郡西部消防組合創立20周年記念式典
平成4年	1月	10日	小型ポンプ付積載車1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成4年	3月	30日	溝辺分遣所消防用ホース乾燥塔完成（更新）
平成4年	4月	1日	消防吏員1人採用（退職補充） 鹿児島県消防相互応援協定覚書締結
平成4年	8月	28日	組合規約第10条関係変更届出
平成4年	12月	25日	消防職員定数条例改正（職員定数81人）
平成5年	1月	20日	溝辺分遣所救助用訓練塔完成（更新）
平成5年	2月	3日	小型ポンプ付積載車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成5年	2月	25日	日本自動車工業会から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
平成5年	4月	1日	消防吏員5人採用（退職補充1人、新規採用4人）

年	月	日	概 要
平成	5年	5月26日	鹿児島郡吉田町から消防組合加入の要望書が提出される
平成	5年	6月5日	消防無線移動局2局更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所に配備する
平成	5年	8月23日	日本消防協会から指令車1台の寄贈を受け消防本部警防課に配置する
平成	5年	9月7日	消防組合臨時議会（鹿児島郡吉田町の消防組合加入について議決）
平成	5年10月18日		消防職員定数条例改正（職員定数107人）
平成	5年10月25日		鹿児島郡吉田町の消防組合加入に関する協議書覚書調印
平成	6年	3月1日	消防無線移動局2局更新し本署に配備する
平成	6年	3月18日	広報車1台更新し消防本部総務課に配置する
平成	6年	4月1日	鹿児島県知事から消防組規約変更許可（鹿児島郡吉田町の消防組合加入） 消防吏員24人採用（鹿児島郡吉田町加入による増員20人、条例改正による増員4人） 水槽付消防ポンプ車1台、小型ポンプ付積載車1台、救急車1台、消防無線基地局1局、移動局3局、携帯局4局購入し吉田分遣所に配備する
平成	6年	9月29日	吉田分遣所落成式典
平成	6年	9月30日	救急車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成	6年10月	1日	吉田分遣所消防業務開始（消防吏員18人配置）
平成	6年12月26日		本署消防用ホース乾燥塔完成（更新）
平成	7年	1月27日	第4代管理者櫛山和實始良町長再任
平成	7年	3月29日	吉田分遣所ロープ渡過施設完成
平成	7年	4月1日	消防吏員3人採用（退職補充1人、条例改正による増員2人）
平成	7年	6月22日	小型動力ポンプ1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成	7年	7月17日	救急車1台、消防無線移動局1局更新し溝辺分遣所に配置する
平成	7年	8月8日	消防無線携帯局2局更新し本署及び蒲生分遣所に配置する
平成	7年12月22日		消防無線基地局1局更新し蒲生分遣所に配置する
平成	8年	2月6日	消防無線基地局1局更新し溝辺分遣所に配置する
平成	8年	4月1日	消防吏員2人採用（退職補充2人）
平成	8年	8月5日	消防職員定数条例改正（職員定数118人）
平成	8年	8月8日	消防無線携帯局3局更新し本署2局及び蒲生分遣所1局配置する
平成	8年11月25日		水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し蒲生分遣所に配置する 消防無線基地局1局更新し本署に配置する
平成	9年	3月31日	第8代消防長雨乞信退任
平成	9年	4月1日	第9代消防長に猶木龍美就任 消防吏員12人採用（退職補充1人、条例改正による増員11人） 消防吏員1人中途退職
平成	9年11月19日		水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成	10年	3月23日	小型ポンプ付積載車1台を購入し始良分遣所に配置する
平成	10年	3月27日	消防無線携帯局3局更新し本署2局及び溝辺分遣所1局配置する

年 月 日	概 要
平成10年 4月 1日	消防無線設備を始良分遣所に配備する（受信機1台、携帯局2局） 始良分遣所消防業務開始（消防吏員18人配置） 消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成10年10月13日	救急車1台を更新し中央消防署に配置する
平成11年 1月22日	第4代管理者櫛山和實始良町長退任
平成11年 1月29日	第5代管理者に福元久夫始良町長就任
平成11年 3月30日	日本消防協会から救急車1台寄贈を受け始良分遣所に配置する
平成11年 4月 1日	消防緊急通信指令施設運用開始
平成11年11月15日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し始良分遣所に配置する
平成11年11月16日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し中央消防署に配置する
平成12年 3月31日	第9代消防長猶木龍美退任
平成12年 4月 1日	第10代消防長に森田峯一就任
平成12年10月30日	訓練指導車1台を更新し消防本部警防課に配置する
平成13年 2月15日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し中央消防署に配置する
平成13年 2月16日	高規格救急車を1台購入し中央消防署に配置する
平成13年 4月 1日	救急救命士による高規格救急車運用開始 蒲生分遣所新築移転し消防業務を開始
平成13年 7月19日	救助工作車1台、小型ポンプ付積載車1台を更新し中央消防署に配置する
平成13年 8月16日	加治木ライオンズクラブから消防用ホース5本寄贈を受ける
平成14年 4月 1日	溝辺分遣所新築移転し消防業務を開始 消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成14年11月18日	小型ポンプ付積載車1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成14年12月31日	消防吏員1人中途退職
平成15年 4月 1日	消防吏員2人採用（退職補充2人）
平成16年 9月30日	消防吏員1人中途退職
平成16年11月 1日	鹿児島郡吉田町が消防組合を脱退し鹿児島市と合併（消防吏員10人鹿児島市へ転出）
平成17年 3月25日	資機材搬送車1台購入し中央消防署に配置する
平成17年 3月31日	第10代消防長森田峯一退任
平成17年 4月 1日	第11代消防長に垂内猛志就任
平成17年 8月19日	集団災害用エアータン購入し中央消防署に配置する
平成17年10月19日	消防緊急通信指令施設で携帯電話119番直接受信開始
平成17年11月 7日	始良郡溝辺町が消防組合を脱退し国分市、隼人町、牧園町、霧島町横川町及び福山町と合併し霧島市となる（消防吏員14人霧島市へ転出）
平成18年 3月 5日	第5代管理者福元久夫始良町長急逝
平成18年 3月17日	高規格対応型救急車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成18年 5月 8日	第6代管理者に厚地和幸蒲生町長就任
平成18年 7月28日	査察車1台を更新し消防本部予防課に配置する

年 月 日	概 要
平成18年10月24日	小型ポンプ付積載車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成19年 4月 1日	消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成19年 9月30日	消防吏員1人中途退職
平成19年10月31日	第11代消防長垂内猛志退任（始良町へ転出）
平成19年11月 1日	第12代消防長に池山史郎就任
平成19年12月20日	指揮車1台更新し中央消防署に配置する
平成20年 4月 1日	消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成21年 4月 1日	消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成21年 9月30日	第12代消防長池山史郎退任（始良町へ転出）
平成21年10月 1日	第13代消防長に宮原千年就任
平成21年12月31日	消防吏員1人中途退職
平成22年 1月15日	高規格救急自動車1台更新し始良分遣所に配置する
平成22年 3月22日	始良郡西部消防組合解散 （加治木町、始良町及び蒲生町の合併に伴い解散）

### 3 歴代消防長（始良郡西部消防組合消防本部）



初代 曾木 隆輝  
自 昭和46年4月1日  
至 昭和47年3月31日



2代 下猶 篤男  
自 昭和47年4月1日  
至 昭和49年12月31日



3代 坂元 満男  
自 昭和50年1月1日  
至 昭和53年3月31日



4代 右田 光男  
自 昭和53年4月1日  
至 昭和58年7月31日



5代 村岡 創造  
自 昭和58年8月1日  
至 昭和61年12月31日



6代 木場 政昭  
自 昭和62年1月1日  
至 昭和62年3月31日



7代 迫屋 清治  
自 昭和62年4月1日  
至 平成2年3月31日



8代 雨乞 信  
自 平成2年4月1日  
至 平成9年3月31日



9代 猶木 龍美  
自 平成9年4月1日  
至 平成12年3月31日



10代 森田 峯一  
自 平成12年4月1日  
至 平成17年3月31日



11代 垂内 猛志  
自 平成17年4月1日  
至 平成19年10月31日



12代 池山 史郎  
自 平成19年11月1日  
至 平成21年9月30日